

その他の鉄鋼業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故 の 型	労働者 規 模
2017	1	11~12	当社北ヤード板置場において、二人でヤード敷板の整備作業中、もう一人の従業員がガス切断作業をするので、火花に当たらないよう被災者が離れようと土留めにおいている鋼材（高さ約30cm）から降りたところ、右足を捻るように着いてしまい受傷した（安全靴着用）。	34	921	19	100 ~ 299
2017	1	8~9	コイニングプレス前でボルトを締めている時、スパナレンチにかましていたパイプが外れてしまい、その反動でよろめき、後ろに置いてあった鉄パレットに頭部を強打した。	72	364	19	10 ~ 29
2017	2	15~16	当社工場内に於いて、鉄骨加工作業中、一日中鉄骨を持ち運んだため背中に痛みを感じ負傷した。当初は肉離れかと思っていたが、家に帰って動けなくなり、翌日は日曜だったので、その翌日に病院へ行き診察を受けた。	31	521	19	1~ 9
2017	2	18~19	会社内にてクレーンから鉄板（3000×500mm）を降ろす作業中、台木を揃えていたところ誤って左手人差し指を鉄板と台木の間にはさまれ負傷した。	26	211	7	1~ 9
2017	2	12~13	当社工場内にて廃棄物を積んだトラックの荷台のシートを地上から剥がす作業中、外せなかったため荷の上に乗ってシートを剥がそうとした際、荷表面が平坦でない為バランスを崩して荷台から地上に腰から落ちた。	47	221	1	10 ~ 29

2017	2	13~14	当社工場内にて、鉄筋を機械で切断していた時、鉄筋がはねた為、切断機と鉄筋の間に左手を挟まれ負傷したものである。	42	159	7	30 ~ 49
2017	2	8~9	当社工場内のフライス機を使おうとして、盤上にあった鋳物をバリ取りしようとするとして手元に引き寄せたところ、足がもつれ体勢が崩れて鋳物が盤上から作業者の手前にずり落ち、左下腿に触れながら落下して受傷した。	52	521	4	10 ~ 29
2017	2	20~21	熱処理炉にて加熱炉に入る鋼材を調整する治具（矯正ローラー）の交換作業中、矯正ローラーが載った台車を移動させようと一旦前に押したところ台車上のローラーが被災者側に寄ってきて台車の重心が偏り、台車が被災者の方へ倒れ右足首が台車の持ち手部分の下敷きとなり更に矯正ロールが太ももの上に乗っかり受傷した。 ※矯正ローラーの重量は約80kg~100kg程度。	36	159	4	100 ~ 299
2017	2	19~20	コンベアーに挟まれた材料を取ろうとして、コンベアーに右手中指が挟まれた。	41	224	7	10 ~ 29
2017	2	15~16	当社、本社工場の酸洗・洗浄ラインにおいて、洗浄完了材（1.5mm×230mm×2900mm×30枚、130kg）の取り出し中に、回転集材機上の材料が搬送コンベアーに引っ掛かって落下しそうになったため、手で押さえて落下を防止しようとしたが押さえきれず、左足上（安全靴着用）に落下し、その際に第1趾・第2趾を負傷した。再発防止策として、作業手順書の見直し、教育の徹底、設備改善を検討する。	49	224	4	30 ~ 49
2017	2	16~17	第一工場のガス切り場で、酸素解体作業をしている時、円柱のタンク（高さ2m、重量500kg）を半分に切ったところ、切った部分が転がってぶつかってしまい、骨盤を座骨骨折した。	30	521	6	10 ~ 29
2017	2	16~17	当社倉庫内において被災者は片付作業中、足元の鉄板に躓き転倒した。その際ダンボールに右眼付近が当たり負傷した。	40	611	2	10 ~ 29

2017	3	17~18	会社敷地内の駐車場で、帰庫した後、事務所に行こうと大型ダンプから降りようとした際、ドアノブに手をかけようとしたとき、ドアが完全に閉まっておらず、そのままの勢いで転落し、尻と後頭部を打ち、脳しんとうを起こした。	51	221	1	30 ~ 49
2017	3	11~12	鉄骨材料を工場内にて積込時、荷台で材料を手で移動した際に腰に激痛がはしり、その後、痛みがあったが無理をして荷卸しも行った。	37	921	19	1~ 9
2017	3	15~16	トレーサー4号機にて切断した130t×500×652の製品を6.7kgの大ハンマーで叩いて落とす作業中、振り上げた際に柵が折れ、大ハンマーのヘッド部が首に当たった。	32	364	4	30 ~ 49
2017	3	3~4	スリット加工にて、母材のTOPから約1mの位置を2名で持ち上げ、テンションリールの上部へ誘導していたとき、1名は母材の先端がテンションリールにあたると同時に手を放したが、もう1名は手を放すのが遅れ、製品とスロープの間に右手中指を挟まれ被災した。	19	521	7	50 ~ 99
2017	4	8~9	プレス機の送り台が機械から出てきたとき、ゴミがある事に気が付き、送り台の下に足を入れて取りはらおうとした。トラテープの内側で送り台が動いていたときに右足を踏み入れてしまい、送り台に当たり、送り台の力で押し戻され、手前の鉄板との間に挟まれた。	28	169	7	30 ~ 49
2017	4	11~12	納品先で従業員と二人で荷物を降ろすときに、相手方が手を滑らして品物が自分に跳ねかえり、それを避けようとして転倒した時に足が捻れ、左足くるぶしから踵にかけて腫れ、内出血が続く状態となった。	51	521	2	1~ 9
2017	5	9~10	会社第三作業場で、粉碎・破砕用ドラムローラー部にて指を挟まれ、右示指・中指・環指挫滅創を負った。	48	162	7	10 ~ 29
2017	5	7~8	工場内スクラップシャー機械室にて、始業準備のため配電盤操作を終了し、階段（7段）を降りようとした際、足元が滑り、階段を滑り	37	413	1	10 ~

			落ちてしまい脇腹を強打した。痛みがあるが我慢して仕事を続けたところ、痛みが増して我慢できなくなった。					29
2017	5	5～6	次に処理する材料（2段積の上段）に添付してある管理札に誤りがある事に気づき、管理札を付け替えようとしたが材料が既に炉の手前にあった為、脚立を利用した。一方の足を上段の底板に掛けたところ、残った足で脚立を蹴り飛ばしてしまい落下し、駆動チェーンのカバーに左脇腹をぶつけ受傷した。	38	371	1	～	100 299
2017	5	9～10	事業場工場内において、シリンダー部品の穴明け作業中、シリンダー部品片面に500トンプレスで押し込んだ穴明け用ポンチ（円筒形：高さ約200mm、重さ約20kg、底面径約160mm・上面径約120mm）を一旦抜くために、シリンダー部品を同僚従業員がマニピュレーターで挟んで裏返ししたところ、ポンチが抜けてテーブル（高さ約500mm）に当たった後、被災者の左足に落下した。	47	521	4	～	10 29
2017	5	10～11	1700スリッターでコイルをアンコイラードラムに挿入する作業をコイル側面で行っていた際に、コイルをコイルカーに乗せた状態でアンコイラードラムとの高さ調整をしている際に、高さ調整が出来ていない状態でコイルカーを前進させた為、コイル側面がアンコイラードラムの軸に当たり、コイルが被災者の方に転倒し胸を強打した。	19	521	4	～	50 99
2017	5	10～11	熱処理工場建屋南のテントハウス前で、ステム巻き亜鉛メッキ線を吊ったバッテリー式リーチ（2.1t）をバック運転した時、停車していたフォークリフトのフォーク（一本角）先端に左足膝裏下が突き当たり負傷した。	66	222	6	～	100 299
2017	6	14～15	当社工場にて、板の厚みを測る作業中、60cm程に積み上げた鋼板の上に右足を掛けた際、積み上げた鋼板のバランスが悪かった為に鋼板が崩れてしまい、右足くるぶし部分を裂傷し、7針縫ったものである。	59	521	5	1～	9
			取引先敷地内においての被災である。スクラップ積み込み作業中、					

2017	6	9~ 10	機械のスクラップを同僚が運転するユニック車で掴み損ね、スクラップが揺れて転倒し、機械スクラップ付近で仕分け作業中の被災者の右足甲の上に触れ、打撲した。	42	212	6	100 ~ 299
2017	6	11~ 12	検査工場芯出し定盤上で、鋳鋼製品（約3t）をクレーンで90度立てる作業を行っていて、製品が起き上がった瞬間、製品が枕木からずり落ち、バランスを崩すと同時に玉掛けチェーンも外れてしまい、倒れてきた製品に右足指を挟まれた。	27	612	6	100 ~ 299
2017	6	20~ 21	工場のベルトコンベアー試運転時、裏ベルトに異物があるのを発見したため、安全柵を外して異物を取り除こうとした際に、ベルトに接触して右手を挟まれた。不具合発生のため運転を停止して処置を行った後、試運転を実施した時のものである。	22	224	7	50 ~ 99
2017	6	15~ 16	工場内で機械を解体する際、ギアが回転するため鉄棒で固定していた。鉄棒が外れないように、左足で押さえながら解体作業をしていた。その作業中に、鉄棒から足が滑り捻挫した。	44	921	19	10 ~ 29
2017	7	13~14	工場内でレール割り作業（レールにガスバーナーで切れ目を入れて、大ハンマーで叩き割る作業）をしていたところ、大ハンマーがレールの端に当たり跳ね返ったレールが左足を直撃した。（レールは約1mで安全靴の柔らかい部分を直撃した。）	58	364	4	1~ 9
2017	7	16~17	被災者は注湯後の湯口カップと桁間の湯浸入防止板の回収の作業をしており、午前、昼、午後と水分を補給していた。大汗をかいたが、もう少しということで作業を継続していた。夕方気分が悪くなり氷水等で処理をしたが痺れが治まらず救急搬送された。当時の職場環境はTA:42.2℃RH:36.7%WBGT:34.2℃（夜測定）であった。	40	715	11	100 ~ 299
2017	7	12~13	被災者は取鍋補修の作業をしていた所、体調が悪くなりお昼に退社した。その後、熱中症と診断されまた、腎臓の数値が高いということで入院となった。当日の職場の環境はTA:39.5℃RH:34.2%WBGT:31.6℃（夕方測定）であった。	52	715	11	100 ~ 299

2017	7	13~14	当社工場内銅ダライ置場横において、銅ダライの入った箱をリフトにて荷降ろししようとした際、フォークで箱を持ち上げた時に然程重たくないと感じたため、箱を一気に持ち上げバックさせたが、思いの外、箱が重く重みでリフトが前傾して後方部が宙に浮いた状態となり、後方部が地面に着地した際に背中を打ち、負傷した。	57	222	3	1~9
2017	7	9~10	本社工場内にあるシャーリング切断機を修理中、持っていたシリンダーが油で滑り、機械の凹凸部分で右手親指を切傷した。	24	156	8	10~29
2017	7	17~18	丸型の鋼材（長さ約3m・直径11cm）をベルトコンベアからホイストクレーンで吊り、引き上げ回収する際に、振り子のようになった鋼材の角とベルトコンベアの突出部分との間に指が挟まり、裂傷・骨折した。	41	211	7	30~49
2017	7	16~17	当社工場にてトラックに積んであるスクラップの荷降ろしのため、ワイヤーを外そうと荷締機（ガッチャ）を緩めて手を放した時緩んだ反動で荷締機が自身の顔の方向へ向かってきて右目に当たり、負傷した。	36	363	6	10~29
2017	7	10~11	勘兵衛ヤード形鋼倉庫内において天井クレーンで製品（形鋼用）を移動先の置き場所に搬送し下ろそうとした時吊り荷が別のはい山に接触し製品が落下した。その時ワイヤーを外すために追従していた被災者に衝突し負傷した。	21	521	4	10~29
2017	7	3~4	高速道路メンテナンス関西において、仕事が終わりに、後片付けとして資材車の荷台からテラスター（荷物）をおろすパワーゲート（資材車後）に右足をかけ、飛び乗ろうとした際に片足が上がり、左ひざを強打した。	23	521	4	1~9
2017	7	10~11	社内でシャーリング加工中、人差し指を挟み負傷した。	65	156	7	10~29
			約15kgの鉄の板状の部品にサンダーで表面を研磨していた際、裏面				

2017	7	8~9	の研磨作業をしようと裏返しにしようとしたところ、作業土台と板上の部品の間で左手を挟んでしまい中指第一関節を負傷した災害である。	57	521	7	30 ~ 49
2017	7	9~10	不審火災害後の復旧作業中、シュレッダー機・本体前コンクリート製ピット内ドラム缶入破砕屑をシュレッダー室入口付近に移動すべく、2.5tホイスト式天井クレーンの操作用押ボタンスイッチBOXを両手に持った被害者は、クレーンを誘導ピットに突き出た点検歩廊に向けるべく、排風機用モーター架台脇鉄板製床に（コンクリート製作業床より20cm低い）、安全靴着用の左足を一步踏み出したとき、これを踏み外し、30cm下のコンクリート製床に体を右回転しつつ墜落した。その際、突き出た床の上縁で、左第8、9番肋骨を強打し、骨折したものである。	37	416	1	1~ 9
2017	7	8~9	本社工場内にて、レーザー加工機横の作業台で、切断した製品を片付ける作業中、作業台に昇ろうとして足を踏み外し、作業台の角で左胸を強打した。	36	391	3	30 ~ 49
2017	7	15~16	工場内の作業場で、切断された製品を枠から抜くため、その製品の上に細長い鋼材を片方だけ接地させ、他方をパワーマグネットで吊り上げ、その直下に鉄の当てものを置いた。パワーマグネットの電源を切って落下させ、当てものに激突させた。その衝撃で製品と枠を離そうとしたが、右手で当てものを少し動かしているときに、吊り上げていた鋼材がマグネットから外れて落下し、それと当てものに右手が挟まれ負傷した。	18	372	4	100 ~ 299
2017	7	14~15	工場内にて、4mシャーリングで加工中、板押さえパッドが取れたので、機械を停止し取り付けたあと、寸動動作にて2~3回機械を動かす、取り付け確認を全員で見ているときに、被災者が誤って右から1番目の板押さえに左手を差し出したため、板押さえにより左手中指が機械に挟まり受傷した。なお、そのときに軍手は着用していた。	24	156	7	50 ~ 99

2017	7	14~ 15	工場内B棟丸棒剪断プレスラインにて、丸棒送りモーターの交換作業を手伝っていた。モーターとチェーンの動きをチェックするための試運転中に、モーターに無意識に手を近づけてしまい、装着していた皮手袋ごと巻き込まれた。その際に、右手の薬指を挟まれて負傷した。	34	224	7	10 ~ 29
2017	9	11~ 12	構内において、スクラップをレッカー車の荷台に載せる作業をしていた。その作業中、担当の被災労働者が担当者に対し、開始の合図を間違えてしまい、右手がワイヤーとスクラップとの間に挟まった状態で巻き上がり、薬指を骨折した。	34	212	7	10 ~ 29
2017	9	13~ 14	上記日時当社の工場にて、運転手の被災者が工場内を移動をしていた時、作業用のクレーンが通過している所に出てしまい、タイミング悪くクレーンのマグネットから落下した鉄くずが左足にあたってしまい負傷したものである。	55	521	4	1~ 9
2017	9	13~ 14	製鉄所鋼管工場造管出側H床にて製品の結束、払い出し作業に従事、結束の不揃いを発見した為、修正の為結束された鋼管（8本束）を架台に移動し降した際に1本の鋼管の端部（南側）が落下、修正しようとしてきた際に、鋼の北側が落下し、右足を挟まれ負傷した。	32	418	4	300 ~ 499
2017	9	11~ 12	本社工場でVベルトの亀裂発熱を点検中、目を逸らした際誤ってモータから繋がっているVベルトとVプーリーとの間に、右手指先を挟んでしまった。	42	159	7	10 ~ 29
2017	9	9~ 10	本社工場にてトラックトレー台車上で品物を載せ、天井クレーンにワイヤーフックにかける作業中、その作業に気をとられ、足元を見ていなく、体のバランスを崩して下に落ち、手を地面についた際に負傷した。	43	221	1	10 ~ 29
2017	10	16~ 17	事務所第二工場トラックヤードで積込作業中のトラック荷台の上で4×8製品を胴巻にて荷締する際、足跡がつかないように安全靴を脱ぎ、裸足で製品の上に乗って作業していたところ、となりの3×6製品の上においてあった締め機が左足親指の上に落ち骨折した。	46	363	4	10 ~ 29

2017	10	9~ 10	当社工場内に於いて片付け作業をしようと高さ60cmの作業台上にあるH鋼を手前にずらした際、被災者の安全靴先端に落下し左足親指を受傷した。	25	521	4	10 ~ 29
2017	11	13~ 14	事業場内荷降ろし場において、トラックの積み込み作業の段取り中、トラックの荷台へ登り、アオリ部分に足をかけて登りきった時に、右足を滑らせて荷台内部へ左足から落下した。	40	221	1	10 ~ 29
2017	12	0~1	当社の家電ヤード内で、トラック（10tアオリ車）から荷物を降ろそうと、アオリを開けた際、アオリが体に当たり、そのまま地面に倒れ、地面で頭を打ち負傷した。	26	221	6	30 ~ 49
2017	12	11~12	被災者がスクラップの解体作業を行っていた付近で、別の作業者が重機を用いてスクラップの移動を行っていた。状況から見て、スクラップを移動させるため重機を旋回させた際に、遠心力でスクラップが飛んでしまい、被災者に当たったと思われる。作業者は、柱で被災者を認識できていなかった。	48	145	4	10 ~ 29
2017	12	7~8	借り上げ場所にて、車を積み込むために10tトラックの荷台に上がったところ、荷台の表面が少し湿っていたのか、履いていた安全靴が滑って転倒しそうになったため、そのまま荷台上で転倒すれば荷台の縁（荷台のアオリは下へ下ろしていた）で脇腹や背中を打つか、もしくは荷台から転落して地面へ落下するかもしれないと思い、転倒する前に自らジャンプして荷台（高さ約1m）から地面（コンクリート）へ着地したところ、両足の踵を負傷した。	53	221	3	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html